

教専寺新聞

「いのち」

令和五年十月号

No.239

教専寺ホームページ

リニューアルしました

このほど教専寺のホームページをリニューアルしました。

お寺の紹介や「教専寺新聞」、年間の行事や原爆と教専寺についてなどをご覧いただけます。

お寺までの道順も詳しくご案内してあります。

また教専寺のLINEも新設しました。

どうぞご活用ください。



教専寺 ホームページ

<https://www.kyosenji.com>



教専寺 公式LINE

<https://lin.ee/YZL7YrO>



今月の予定

【寺号公称 400 年記念講演会】

7日(土)午後2時より

講師 本名正憲アナウンサー

【仏教婦人会例会】

27日(金)午後1時半より

【清掃奉仕】

毎週金曜日午後2時より

教安寺は定期の行事のみとなります。

※11月の予定

おみがきの日程が決まりました。

19日(日)午前9時からです。

我が家の朝はラジオです。住職がラジオ好きなこと、テレビでは子供たちの準備の手が止まってしまうのでラジオがついています。もちろん本名アナウンサーのおはようラジオも朝の定番。講演会が決まったと聞いた子供たちの反応は「きゃー♡」初めて会う有名人です。心待ちにしています。

なくさなくてもいい悲しみ

数年前、お寺の法座で若手布教大会を開きました。

出講してくださった友人のご講師が、「私はお通夜のご法話などのご縁で、私たちは身近な方がお亡くなりになり悲しみの涙を流しますが、その涙を大事にしてくださいというのです。だって、その涙は悲しみの涙に違いありませんが、同時に大切な方に出あえた証拠なのですから。別れの悲しみの中に、出あうことのできた不思議が味わえたら有り難いですよね」とお話しくださいました。

その後、ご法座も終わり、ご門徒さんもお帰りになつていきます。私はようこそお参りくださいましたとお見送りしていました。

すると、一人のお同行さんどうぎょうさんが「今日はいいご縁にあわせていただきました。有り難うございました」とおっしゃった後、「悲しみはなくさなくていいんですねえ」と一言おっしゃってお帰りになったのです。

なくすことのできない悲しみをなくそうとするのはつらいことです。未練を断ち切ることができないのは愚かなことかもしれません、それが等身大の私です。ならば、私たちは悲しみをなくすように生きていくのではなく、悲しみを抱いたまま、愚かな凡夫のまま生きていくのです。そして苦悩という暗闇に届いてくださっている阿弥陀さまの光に出遇わせていただくのです。

米田順昭師(真宗学寮講師 廿日市市・最禅寺住職)

本願寺新報二〇二三年九月二十日号「みんなの法話」より